

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	GRAALL-2005/R
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	B-ALL
保険適応外の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-033
登録日・更新日	2019年6月25日 登録 2020年4月28日 更新
削除日	
出典	N Engl J Med 2016;375 1044-1053
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

RITUXIMAB		規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	100mg、500mg 500mL	375 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート □側管 □その他()	*	Day 1 and 7 of first induction course
	リツキシマブ (リツキシマブBS点滴静注) 生理食塩液					

RITUXIMAB		規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	100mg、500mg 500mL	375 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート □側管 □その他()	*	Day 1 and 7 of salvage reinduction (if needed)
	リツキシマブ (リツキシマブBS点滴静注) 生理食塩液					

RITUXIMAB		規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	100mg、500mg 500mL	375 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート □側管 □その他()	*	Day 1 and 29 of consolidation phase 1, 2, 3
	リツキシマブ (リツキシマブBS点滴静注) 生理食塩液					

RITUXIMAB		規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	100mg、500mg 500mL	375 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート □側管 □その他()	*	Day 1 and 7 of late intensification
	リツキシマブ (リツキシマブBS点滴静注) 生理食塩液					

RITUXIMAB		規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	100mg、500mg 500mL	375 mg/m ²	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート □側管 □その他()	*	Day 1 of month 1, 3, 5, 7, 9, and 11 of the maintenance therapy
	リツキシマブ (リツキシマブBS点滴静注) 生理食塩液					

1コースの期間	
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能() ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	
前投薬	アセトアミノフェン500mg + クロルフェニラミン注10mg + ファモチジン注20mg + ヒドロコルチゾン注100mg
その他の注意事項	* リツキシマブの投与方法は院内標準化に準拠する B型肝炎ウイルスキャリアの患者又は既往感染者(HBs抗原陰性、かつHBe抗体又はHBs抗体陰性)において、本剤の投与によりB型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎があらわれることがあるので、本剤投与に先立って肝炎ウイルス感染の有無を確認し、本剤投与前に適切な処置を行うこと。本剤の治療開始後及び治療終了後は、継続して肝機能検査や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意すること。

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	寺尾 俊紀